



高速しが

令和 8 年
(2026)
8 月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会：滋賀県高速道路交通警察隊

猛暑の夏・車両火災に注意！

猛暑が続く夏の高速道路では、路面の温度が50度を超えることが多々あり、車両火災も懸念されます。ドライバーの皆さんには、車両火災の危険性を認識していただき、火災を起こさないためにも運行前点検は確実に行いましょう。

あなたの車に車両火災の危険がないかチェックしてみましょう

★車内仮眠はアクセルペダル等に注意★

エンジンをかけたまま車内で仮眠をする場合、予期せずにアクセルペダルを踏み込んでしまうことで、エンジンが高回転となり加熱し、車両火災を引き起こす危険性があります。車内のモバイルバッテリー等も火災の原因となることがあるため注意が必要です。

安全な環境で休憩するようにしましょう。



★駐車場所は安全ですか★

夏場は気温の上昇により、車両火災だけでなく、枯草や紙くずなどへの引火による火災にも注意が必要です。枯草等が生い茂っている場所への駐車は避けましょう。「車両点検」と「駐車場所の確認」が、車両火災等を防ぐ第一歩です。



★車内に燃えやすいものを置いていませんか★

高温になる車内に、モバイルバッテリー、ライター、携帯ガスボンベ、揮発性の高い液体などを置くと溶解、膨張するなどして発火の危険性があります。また、点検後、エンジンルームに布、紙などを置き忘れると、エンジンの加熱によって発火する危険性があります。



★エンジンオイルの点検を忘れずに★

エンジンオイルはエンジンの潤滑剤です。点検を怠ると、エンジンオイルの量が減っていたり、交換時期を超えてオイルが劣化して潤滑不良を起こし、最悪、エンジンが破損し火災が発生することがあります。

★トンネル内で火災が発生したら★

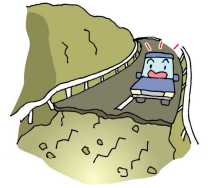
トンネル内で火災が発生した場合は、煙が急速に広がり、視界の悪化や有毒な煙によって避難が困難になることがあります。トンネル火災では「命」を最優先に行動し、煙を吸わないよう速やかに避難することが最も重要です。



非常口は750m以上のトンネルに750m程度の間隔で設置されている。

ゲリラ雷雨に注意！

今年も各地でゲリラ雷雨による大きな被害が多発しています。これから台風シーズンも重なるため、高速道路を運転中にゲリラ雷雨に遭遇したら次のことに気をつけましょう。



* 大雨で視界が悪くなってきた！

- ◇速やかに安全な速度まで減速し、昼夜間に関わらずヘッドライトを点灯して、他の車両に自車の存在を知らせましょう。
- ◇濡れた路面を走る際は、スリップ事故のおそれがあるため速度を出し過ぎないようにしましょう。

* さらに雨が強くなってきた！

- ◇急ハンドルや急減速を避け、ハザードランプを点灯して、安全な速度まで減速しましょう。
- ◇十分な車間距離を取り、できる限り走行車線を走行し、無理な走行は避けましょう。

* ゲリラ雷雨に備えるために・・・

- ◇高速道路は、平地や山間部などの様々な地域を高速で移動するため、各地域、出発地、目的地の天候に違いが生じます。
出発前や休憩時に天気予報を確認し、悪天候の予報がある場合はルートや出発時間を検討しましょう。

* 運転中に悪天候により危険を感じたら！

- ◇他の車両に注意しながら、直ちに最寄りのSAやPAへ待避し、気象情報を確認して安全な状況になるまで待ちましょう。

びわ湖大花火大会に伴う交通規制



今年も恒例のびわ湖大花火大会が8月6日(木)に開催されます。

当日、大津ICの通行は可能ですが、大津SAは午後3時には閉鎖されます。(花火見学はできません)。当日は、例年大津IC付近で渋滞が発生しますので、付近での車の利用を控えましょう。